

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和7年度11月号

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村 史傳

編集 中村美也子

令和7年11月 5日発行

瀬々野浦 1194 ☎ 5-0122

11月～12月前半の行事予定

11/4 (火) 事務局会議 10:00～

11/5 (水) 健康体操 13:30～

11/8 (土) 大帯姫神社 神祭り

11/9 (日) 甕マラソン

11/18 (火) 事務局会議

11/19 (水) 健康サロン 11:30～

11/23 (日) 竜宮フェスタ (上甕)

12/14 (日) 助八古道をあるこう会！

自治会・コミ協活動

* 西山小学校校庭草刈り *



写真撮影に参加できなかった方が5名ほどいました。

10/26 日曜日 8時から草刈りを始めました。30名ほどの方が協力くださり2時間かかって終了しました。草は小さな子供ならすっぽり隠れるまでに成長していて正直「えらいこっちゃ」とため息交じりで作業を始めました。最初は陰で風も涼しくおしゃべりや「ほいさ～あらーよ」等の声も出ていましたが40分も経つとペースもがた落ちし給水タイムに入りました。10分ほど休憩し重い腰を上げ再び作業開始。

草を刈り続ける人・周りの木々を刈る人・集める人・袋につめる人・袋を運ぶ人それぞれの仕事を「これでもか！これでもか！」と無心に…ちょっとやけくそ気味になる気も出てきました。

10時前になり「集まってください。これで終わります」の合図で解散！

70歳前後がほとんどを占めているこの作業はいつまで続けられるかなあと痛感した一日でした。本当にご協力ありがとうございました。未だに筋肉痛に悩まされたのは私だけ？。

主事 中村美也子

***手打ち診療所との意見交換会がありました**

10/8 水曜日 コミセン2階で行われました。

手打ち診療所の室原先生も参加され出張診療についての意見を地域の皆さんに聞かれていました。

- ・病院に来ることでみんなの安否確認ができる。
- ・先生方に会って話すだけで心が落ちつく。

出張診察の回数が徐々に減少されていますが高齢化が進む中現状を維持できるように願っています。

***今月も美味しいサロンが開かれました→→→**

スパゲッティと豆腐ハンバーグと

茄子味噌と茶碗蒸し！！

最高の組み合わせ♡

どなたでも参加できます！

200円持ってコミセンに

お越しください！！11月は19日です。



***ヤマモモの木と栗の木を植えました**

立派な実がなることをを期待しています～



故郷を探る⑧

下甕にシカやイノシシがいた

今年は東日本では熊(クマ)が市街地にまで出没するようになり、多くの人が死んだり傷を負わされたりしている。秋田県では、クマ退治するために、自衛隊の出勤を要請したというから深刻である。北海道にいるのは、ヒグマ、本州はツキノワグマ。四国・九州には生息していないからまずは一安心。

熊ほど人を襲うことはないが、農作物を荒らすのが、猪(イノシシ)・鹿(シカ)・猿(サル)など。甕島はカラス・キジなどの他、小鳥類も作物をくいあらす。この狭い島に今はなくなった猪・鹿・猿までいたらどうなっていただろうか。かつては下甕島には、猿はどうかかわらないが、猪と鹿は江戸時代まではいたという。わが家にはどうしたのか、昔から鹿の角がある。祖父に聞いたところ「昔の先祖様が取らいたとよ。」という答えに島に鹿がいたのか半信半疑だった。何かの文書で、江戸時代の初期頃か手打で昔栄えていた諏訪神社の祭礼の時に狩りとった鹿が十頭以上も奉納されたという記録があったという。(今の手打の鎮守は新田神社だが、昔は諏訪神社が鎮守様だったと聞く。)だから、下甕の山野にも鹿がいたという祖父の話もマユツバではなかった。

一方、猪は幕末近くまでいたという。下甕村郷土誌には、長浜の宮ドン防猪壕(イノシシ防ぎの深いみぞ)跡が紹介される。

私の先祖のドクダジイ(六太夫ジイ・安政年間没)が「シシ(猪)退治」をした逸話が残る。安政年間は一八五〇年代でペリーが来航したころである。この頃まで猪がいたということになる。先年、浜に猪の死骸らしきものが漂着したこともあった。薩摩半島先端の笠沙付近を車で走っている時、かわいいウリボウ(猪の子)が道路脇をトコトコ走るのを見た。大きな猪だったら、こわかっただろう。



